

石嶮 (三宅弘城 / グループ魂)

「ライブをやり過ぎて消化されても面白くないバンドなので、今後も僕らのペースで頑張ります」

今年1月と4月に行われた対バンシリーズ【三宅ロックフェスティバル】vol.1、vol.2の連続開催を機に、9月5日には7年ぶりのニューシングル『もうすっかりNO FUTURE!』を発売、そして3年ぶりに大阪でのワンマンライブを行うグループ魂。9月12日の大阪ワンマンでは、ファンからのリクエストによるセットリストで挑み、翌13日には関西初開催となる【三宅ロックフェスティバル vol.3】も敢行。大阪での活動も活発だ。

そんな今年の彼らの躍進の中心にいるのがドラマーの石嶮こと三宅弘城。1月に50歳を迎え、それを記念して不定期開催も発表された三宅ロックフェス、久々の大阪でのワンマンについて胸中を語る。

—今年には三宅さんの生誕50周年記念も手伝い、これまで以上にグループ魂の活動が活発な印象があります。

「7人の予定が合う時が限られてますからね、僕ら。その時にしか活動できないので。そんな中、今までもその合間を縫って夏はフェスに出たり、年末は舞台や撮影のスケジュールも比較的空いていたりするので、そのタイミングでCOUNTDOWN JAPANに出演したりしてきました。いわゆるレコード会社に怒られない程度の活動しか出来なくて(笑)。そんな中、今年の9月は比較的最小限のスケジュールが合うタイミングが多かったです。そこに詰め込んだ結果、今回のような充実具合に(笑)」。

—今年には【三宅ロックフェスティバル】と銘打った対バンライブからその快進撃が始まりました。「これも最初は“どのような形態にするのか?”をけっこう話し合いました。“沢山のアーティストさんに出演してもらおうべきか?”等々。でも、せっかくだからグループ魂の企画として不定期に続けていこうと。vol.1は僕の50回目の誕生日にかこつけて、それ以降は“対バン企画でやっぺい”との話になったんです」。

—対バンライブながらネーミングは【三宅ロックフェスティバル】なんですよ。

「そうですね。というのもこのタイトルで初の第1回、いわゆるvol.0を12年ぐらい前にやったことがあって。それはグループ魂や大人計画の役者陣達にも出てもらったイベントだったんです。でも、今回は憧れと一緒にやってみたくったバンドさんに出演していただきました。今後根づかせるためにも今年は精力的に頑張ってみたくです」。

—ここでは三宅さんも歌ってますね。

「歌う度に同じドラマーとして、色々なタイプのドラマーがいるんだな…と実感してます。逆に“俺のドラムで歌うってどうなんだろう?”との興味も湧いて。まっ、それは一生無理ですが(笑)」。



—三宅さんのドラムは色々なタイプの音楽性ながら、どれも遜色なく叩かれていて。凄く器用そうですね。

「これまでさまざまなタイプの曲を叩いてきましたけど、遜色はありますよ。やはり得手不得手はあります」。

—そんな場合の対応策は?

「毎回なんとか自分の中の少ない音楽知識をフルに稼働させています。ドラムって間違いも目立つじゃないですか。グループ魂はやることも多いし、間違っただけの指摘も多いんで(笑)」。

—(笑)。曲の構成も複雑で縦横無尽、ブレイクやキメ、ストップ&ゴーも頻繁ですもんね。しかたない…。

「頭で考えちゃうとダメなんです。ノリや勢いで気づいたら出来てたなんてことも多々ありますし。だけど、それも完全にノっちゃうとダメで。入り込み過ぎちゃうと自分が今どこを叩いているのかを見失っちゃう。その辺りは役者とも近いし、“役者ならではのバンドだな…”と感じることもたくさんあります」。

—9月5日には7年ぶりのニューシングル『もうすっかりNO FUTURE!』も発売されます。カップリングには、三宅さんがメインボーカルの『男は泣く』も入っています。

「グループ魂にはメンバーの生誕ソングがいくつかあるんですが、また今回僕の番が来ました。こちらは僕の半ドキュメンタリーみたいな歌内容で。サビが泣けり泣けりの連呼ですから(笑)。どれだけ涙腺を崩壊させるんだよって。そうそう、このシングルには初回DVDに、先日の三宅ロックフェスの僕の生誕祭みたいなライブの様子が入っているんですが、そこでもことある毎に泣いてます(笑)」。

—タイトル曲の『もうすっかりNO FUTURE!』の方は?

「もうボヤキですね、これは(笑)。ギターリフに乗せて中年のボヤキが放たれている。凄くキャッチーでかっこいいナンバーだと思います」。

—9月12日には久々のワンマン【大阪、水入らず】が味園ユニバースで行われますね。

「今回のワンマンはお客さんからのリクエストの中から上位20曲を歌う企画なんですけど、これまでも『リクエストコーナー』を設けて、お客さんからのリクエストをライブ中に募り、それをその場で演ったことはあったんです。そこではことごとく演奏出来ませんでした(笑)。今回、出来るかなあ…?(笑) 以前の大阪でのライブは、自分のドラムで曲を間違えたり、コントでも間違えたりして残念な悔しさが残っていて。それもあって今回は個人的にはリベンジでもあるんです。あと、ずっとやりたかった会場でもあるので、それとても楽しみです」。

—次の日は同会場でゲストにザ・たこさんを迎える【三宅ロックフェスティバル vol.3】も控えています。

「こちらにも非常に楽しみです。東京の吉祥寺でうちのメンバーの宮藤(官九郎)さんがザ・たこさんにいきなり声を掛けられたのが縁で繋がったんですが、聴いたらかっこいいし、面白いし。このイベントで初めてちょっと毛色の違うアーティストさんなので、僕らのファンの反応も楽しみです。この三宅ロックフェスの主旨のひとつとして、自分たちのファンにも僕たちが好きだったり惚れている方々を知って欲しいというのがありますからね」。

—これを機に今年には更に勢力的な活動が見込まれそうですね。

「ところがそうでもなくて(笑)。逆にこれまで通りのペースの方がむしろ自分たち的にはいいんじゃないかと。ライブをやり過ぎて消化されちゃっても面白くないバンドですから。自分たちでも常に新鮮さを保ち続けて活動していきたいし。なんたってまず自分たちが楽しみながらじゃないと出来ない。申し訳ないですが、今後も僕らのペースで頑張らせていただきます。それでもついてきて下さるのであれば、これ幸いです」。

New Single

「もうすっかりNO FUTURE!」 9.5 out!!

グループ魂 @大阪・味園ユニバース

9月12日(水) 大阪、水入らず

9月13日(木) 三宅ロックフェスティバル vol.3

●GUEST: ザ・たこさん